

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

夏に多い感染症 ウイルス感染によっておこる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診察を受けましょう。

ヘルパンギーナ

*原因

コクサッキーウイルスによる感染症で夏かぜのひとつです。潜伏期間は2~4日間です。

*症状

高熱が出てのどの奥に水疱ができ、そのうちに潰瘍になります。痛みがひどいため飲み込みにくく、そのため水分が不足しがちになるので注意します。発病から2~3日ほどで熱は下がり、のどの痛みもおさまります。

*対応

熱やのどの痛みがあるうちは安静に過ごします。脱水症状に注意して水分をしっかりととり、食べやすい食事を用意しましょう。



手足口病

*原因

コクサッキーウイルスによる感染症で、潜伏期間は3~5日間です。

*症状

手のひらや足の裏、口の中などに赤い水疱ができるのが特徴です。破れて潰瘍になると痛みます。発熱することもあります。



*対応 安静にしていれば自然に治ります。元気があれば登園できます。

流行性結膜炎

原因

アデノウイルスによる目とまぶたの炎症で、潜伏期間は1~2週間。感染力が強区、プールの水やタオルの共有などで感染します。

症状

まぶたがはれ、白目が真っ赤に充血して痛み、涙が出ます。まぶたの裏に小さなブツブツができて異物感があるため、目をこすります。耳のあたりのリンパ節がはれたり、発熱したりすることもあります。

対応

症状をやわらげるための薬や、別の細菌感染を予防する薬が処方されます。目をこすらないようにし、手をまめに洗います。

プール熱(咽頭結膜熱)・流行性結膜炎は出席停止になります。登園には医師が記入した治癒証明書が必要です。用紙は園の玄関またはホームページからダウンロードできます。

プール熱(咽頭結膜熱)

*原因

アデノウイルスによる感染症で、夏かぜのひとつです。プールの水を介して感染することがあるため「プール熱」と呼ばれます。潜伏期間は4~5日間。

*症状

高熱とのどの痛みがあります。充血、涙目、目やになど結膜炎のような症状や、下痢、嘔吐、頭痛を伴うこともあります。

*対応

熱や痛み、目の症状を抑える薬が処方されます。症状がなくなってから2日経過するまで登園停止です。

虫刺されの手当て

蚊やハチに刺されることが心配な季節になりました。蚊に刺された時、あるいは腫れが小さい場合は流水で洗い、かゆみ止めを塗ればよいでしょう。ハチや毛虫の場合、あるいは蚊でも腫れが大きくかゆみや痛みが強い場合には受診したほうがよいでしょう。

スズメバチやくマバチなどに刺されると、呼吸困難や意識障害を起こすケースもあるので、注意が必要です。

